

幼稚園 Kindergarten



幼稚園の生活全体を支えるのは神様への礼拝です。礼拝を通して、神様の存在を感じ、神様を信頼するようになります。幼稚園の保育者だけではなく、学院内の様々な方から礼拝のお話を聴くこともあります。そして、一人ひとりを愛して下さる神様に心に向け、聖書の話に耳を傾けます。また、おやつを食べる時やお弁当の前や降園前など神様に守られていることに感謝をし、保育室で心静かに子ども大人もともに祈る時も大切に過ごしています。生活の様々な場面で神様に出会い、安心して過ごせることを願いながら、保育を進めています。

初等部 Elementary School



▲止揚学園訪問

初等部では、毎朝、心を神さまに向けて礼拝をすることから始まります。礼拝の時間は25分ほどあります。教会暦に沿った特別礼拝を守ることもあります。たとえば、イースター礼拝、お母さんへの感謝の集い(母の日礼拝)、子どもの日・花の日礼拝、召天者記念礼拝、クリスマス讃美礼拝、大震災を覚える礼拝など16の礼拝があります。



そのほかに、児童と教職員の祈禱会、保護者向けの聖書の学びと讃美の会、ハンドベルに親しみ会などが、定期的に開催されています。子どもたちによる支援活動も行われています。チャイルド・ファンド・ジャパンを通して6名の子どもたちが学校に通うことができるように、また、日本聾話学校の2箇所には毎月の献金をさせていただきます。また、JOCIS(日本キリスト教海外医療協力会)の使用済み切手回収、日本聾話学校へのベルマーク回収のお手伝いをしています。交流事業として、ラファエル会へクッキー作り体験、止揚学園訪問、フィリピン訪問を実施しています。

中等部 Junior High School



▲中等部礼拝堂

中等部では今年1月に新礼拝堂の使用が始まりました。1月8日に献堂式が行われ、山本院長や大島学院宗教部長などもお越しください、共に新礼拝堂の完成を祝いました。中等部は長らく前回の礼拝堂を持っておらず、ずっと青学講堂を短大などと兼用してきました。今回完成した新礼拝堂は、中等部史上初めての中等部専用の礼拝堂です。ただ、礼拝堂は完成しましたが、まだ足りないものがあります。それは、パイプオルガンです。パイプオルガンは今年の夏休みを使って工事が行われ、2学期から使用が可能になる予定です。みなさんも、時間があつたらぜひ中等部の新礼拝堂を見に来てください。

高等部 Senior High School

「高等部が最も大切にしていることは、日々の礼拝である」この言葉を裏付けるように、高等部では登校した以上は試験であれ行事であれ、必ず礼拝を守ることとなっています。1,200人余の生徒がほぼ毎日礼拝堂に行き来する様は壮観ですが、そのようにしてキリスト教信仰に基づく教育の根幹は、第2次世界大戦中であっても守られてきたわけです。そして現在は、クリスマスやイースター、ペンテコステといった伝統的な教会暦に基づく礼拝はもとより、春・夏の伝道週間、音楽を中心とした特別礼拝、3年生を送る卒業礼拝など、多彩な礼拝を捧げています。さらに宗教行事としては宗教キャンプとして、夏はグリーンキャンプを緑豊かな追分寮で、また冬はホワイトキャンプを3年生限定で水結した松原湖パイルキャンプ場で、盛況のうちに行っています。このような日々の礼拝や行事の中で、高等部のキリスト教教育はこれからも永遠にその伝統を保っていくことでしょう。



▲真冬のホワイトキャンプ



▲グリーンキャンプ

神様とともにあゆむ学院生活

女子短期大学 Women's Junior College

私たちグロリアス・クワイアは、天使の歌声とも呼ばれるハンドベルを用いて、日々演奏奉仕をしています。学内だけでなく、様々な教会や施設を訪ね、礼拝での演奏奉仕やコンサートを行っています。「ハンドベルは一人でも欠けたら成立しない」これは、コーチを務めてくださっている先生がよく仰っている言葉です。私たちは、一人ひとりが違う音を担当しており、同じ音を奏でている人はいません。全員で一つの音楽を作り上げるというのは、とても素敵なことです。これからも私たちは、神様と聞く人に喜んでいただける演奏を目指し、活動していきます。



▲グロリアス・クワイア



▲東日本大震災 被災地支援ボランティア活動

秋季1泊2日のオースタム・リトリートでは、奥多摩の自然のなかで教員と学生がともに御言葉を聞き、恵みの時を分かち合います。近年は有志により、フードドライブや渋谷駅周辺で路上生活を余儀なくされている方々に生活物資を届ける「おす分け作戦」も行われています。2011年より始まった東日本大震災被災地支援ボランティア活動は2019年度も実施予定です。

大学 University

礼拝

青山学院大学がもっとも大切にしていること。それは礼拝です。青山学院校歌にありますとおり、「こだまするチャイムの響」と共に礼拝は始まります。また、各界で活躍するクリスチャンの方々をお招きするチャペルウィークや、火曜夕方18:00からのコンテンポラリー礼拝も行われます。皆さんも礼拝を通して新しい出会いと経験をするでしょう。



▲新入生歓迎礼拝



▲サマーカレッジ

キリスト教教育と活動

全学生が学ぶ「キリスト教概論」をはじめ、多くのキリスト教関連科目が開講されています。また授業以外にも「聖書に親しむ会」や「キリスト教文化に親しむ会」など、宗教主任やクリスチャンの先生と学ぶ一時は、青学ならではのと言えます。夏の清里で行われる「サマーカレッジ」は大学時代の最も良き思い出の一つとなるでしょう。「オルガニスト養成講座」は、大学オルガニストの指導のもと、本物のパイプオルガンの演奏を習うことができる素晴らしいプログラムです。クリスチャン・ノンクリスチャンを問わず、多くの学生が宗教センター所属の4団体に所属し、課外活動を行っています。ぜひ参加してください。人生の師、一生の友と出会えることでしょう。



▲相模原オルガニスト発表会



▲ゴスペル・クワイア

聖歌隊



▲コンテンポラリー礼拝



▲コンテンポラリー礼拝



地の塩、世の光 THE SALT OF THE EARTH, THE LIGHT OF THE WORLD / MATT.5.13-16

WESLEY HALL NEWS

130TH EDITION APRIL 1, 2019

先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう。

シリーズ 折り

ミシェル・クオスト(カトリック司祭)

「金網は自分の作る穴の周りで手をつないでいる。穴が破れないように隣の手首を固く握っている。不思議なことだ。穴で柵が作れるなんて。主よ、私の人生に無数の穴があるように、隣人たちの人生にも穴があるでしょう。しかし、あなたが望みたもうなら、隣人と私は手をつなぐことができます。しっかりと手をつなぎ、ともに柵を作るでしょう。天国にふさわしい柵を」

(ヴェロニカ・ステンデル(1987年)『折りの花束—聖書から現代までのキリスト者の祈り—』中村妙子訳、新教出版社)

新年度が始まりました。新しい出会いもあることでしょう。その中で自分の至らなさに失望したり、友達との欠点に気づいたり、人間関係による躓きも経験することがあるかもしれません。クオスト司祭の祈りは、それでも天国にふさわしい柵が作れることを教えてくれます。皆さんに素晴らしい出会いがあるように祈っています。

(高等部宗教主任 山元 克之)

編集後記

花が咲き、緑が萌え出る美しい春の季節に、新しい園児・児童・生徒・学生をお迎えして、新しい年度が始まることを嬉しく思います。新入園児にとって、初めての集団生活が始まります。また、毎日のお祈りや賛美や礼拝を通して、神様のことを知っています。どんな時でも神様は傍にいて守ってくださることを感じながら、一人ひとり神様から与えられた賜物を大切に、楽しい幼稚園生活が送れるように過ごしていきます。(幼稚園教諭 橋本 治寿)

Wesley Hall News 第130号
2019年4月1日発行
発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 大島 力
東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-6537(ダイヤルイン)
(URL)http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html
(E-mail)agcc@aoayamagakuin.jp
編集 ヴェロニカ・ステンデル
印刷 株式会社 万全社



表紙写真 中等部礼拝堂 献堂式

入学式 4/6 土
 始業式 4/9 火
 イースター礼拝 4/22 月 高等部PS講堂
 説教 増田 将平(青山教会牧師)
 伝道週間 5/13月-17 金 高等部PS講堂
 ペンテコステ礼拝 6/11 火 高等部PS講堂
 特別礼拝 6/12 水 高等部PS講堂
 ゴスペルシンガー・サムエル
 グローバルウィークⅠ 6/17月-21 金
 グリーンキャンプ 7/23火-25 木 高等部追分寮
 グローバルウィークⅡ 9/30月-10/4 金
 秋の伝道週間 10/21月-25 金 高等部PS講堂
 創立記念礼拝 11/15 金 高等部PS講堂

女子短大より

始業礼拝 10:00-11:00
 4/3 水 青山学院講堂
 説教 吉岡 康子(女子短期大学宗教主任)
 第17回 東日本大震災被災地支援 ボランティア 夏期休業期間中に実施
 オータム・リトリート 9/17 火-18 水 奥多摩
 バイブル・リトリート

大学より

キリスト教推薦入学生 オリエンテーション 9:00-11:00
 4/1 月 ガウチャー記念礼拝堂他
 キリスト教概論Ⅰ オリエンテーション 4/2 火-4 木 礼拝堂他
 新入生歓迎礼拝 (青山) 4/8 月-12 金 (相模原)
 イースター礼拝* 4/22 月
 イースター礼拝(夕礼拝)* 4/23 火
 ペンテコステ礼拝* 6/10 月 (相模原)
 チャペル・ウィーク(前期)* 5/13月-17 金 青山・相模原
 ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝* 5/24 金
 清里サマー・カレッジ* 8/5 月-7 水
 チャペル・ウィーク(後期)* 10/14月-19 金 青山・相模原
 各界で活躍しているクリスチャンの方に 礼拝でお話をさせていただきます。
 宗教改革記念日礼拝* 10/31 木
 創立記念礼拝* 11/15 金

宗教センター・グループ活動
 いずれの集いも自由に参加できます。
 聖書に親しむ会*
 わかりやすく、楽しく聖書が学べます。
 キリスト教文化に親しむ会*
 文学、自然科学、社会問題、音楽などをキリスト教信仰との関わりにおいて語り合い、考えます。
 *大学と女子短期大学による合同の礼拝、行事、活動です。

本部より

教職員新学年度礼拝 4/4 木 17:00- 礼拝堂
 お～る あおやま あ～とん 6/18 火-7/5 金 短大キャリアール
 第35回オール青山ハンドベルコンサート 9/21 土 青山学院講堂
 学院創立145周年記念礼拝 11/15 金 ガウチャー記念礼拝堂
 クリスマス・ツリー一点火祭 11/29 金 全学院の礼拝として行います。 全学どうぞご出席ください。

幼稚園 Kindergarten



クリスマス礼拝



学年礼拝



軽井沢キャンプ～朝の礼拝～

いつも神様が共に 石垣 李沙 幼稚園教諭

ご入園おめでとうございます。春の心地よい風が吹いて、園庭の花が綺麗に咲いている様子はみなさんが幼稚園に来るのを歓迎しているようです。これから一緒に遊んだり、絵本を読んだり歌を歌ったりして過ごしましょうね。
 幼稚園で、やりたいことを見つけて楽しくなり、新しいことに気づいて嬉しくなったり、時にはお家の方に会いたくなくて寂しくなったりすることもあるかもしれません。けれども、その全ての出来事が子どもたちの成長の糧になります。
 私たち保育者はその時々子どもたちの気持ちに寄り添い、心の育ちを丁寧に支えます。また、私たちの生活の中心にはいつも神様が共にいてくださいます。どのような時も一人ひとりが、かけがえのない存在として神様の大きな愛を注がれています。これからの歩みも神様が共にいてくださいますから、喜びと感謝をもって幼稚園生活を送れますように。みなさんと一緒に幼稚園で過ごすことを心から楽しみにしています。



Welcome to Aoyama Gakuin!

特集 ようこそ青山学院へ!

出会いと発見の喜びに満ちて始まった、学院生活。新しい仲間に向けて、メッセージをお届けします。

「地の塩、世の光」たる サーバント・リーダーに 山本 与志春 青山学院 院長

ご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心から歓迎いたします。青山学院は創立から145年を迎える今日まで、キリスト教信仰にもとづく教育を目指してまいりました。
 キリスト教信仰にもとづく教育とは、一人ひとりを大切に教育、お互いを大切にするを学び、互いに協力して仕え合うことを喜びとする人を育む教育です。幼稚園から大学まで各学校で礼拝が守られ、聖書の学びと、様々なボランティア活動の場が用意されています。青山学院の一員となられた皆様はぜひ、それに積極的に参加していただき、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会に対する責任を進んで果たす人、すなわち「地の塩、世の光」たるサーバント・リーダーになっていただきたいと願います。
 「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい」(ペトロの手紙一 4:10)。
 神様はいつもあなたと共にいられます。



失敗を恐れず 樋口 創大 高等部3年

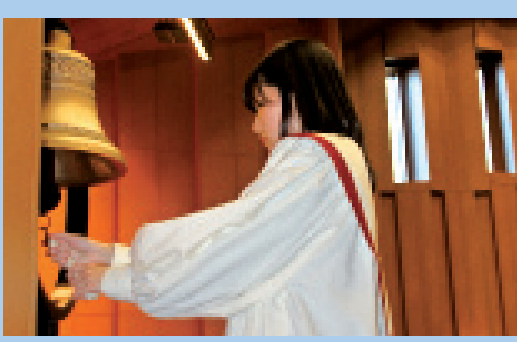
新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。とても刺激的で、新しい人との出会いのある環境で新鮮な毎日をおくっていると思います。
 僕は、高等部で何かを達成したいという漠然とした目標を立てて入学しました。僕が中1の時、中3で亡くなった従姉の分まで高校生活を過ごそうと決めたからです。しかし思うようにはいかず、部活を続けられなくなったり、満足できる成績をとれなかったりなど失敗を繰り返す日々でした。ところが昨年度、軽い気持ちで生徒会の常任委員になったことがきっかけで庶務委員長を引き受けることになり、今は充実した日々を送っています。大きなことができなくても、失敗ばかりであっても、挑戦し続けることが思いもよらぬ形で実っていくことを知りました。その中で、一緒にぶざけて笑いあえる友達に出会えたことは僕にとって一番の誇りだと思っています。
 皆さんには高等部で何か目標や挑戦したいことがありますか?どんな小さなことでもいいので、何かに挑戦してみてください。そして涙山失敗してください。後悔してください。それはいつかきっと実りにつながります。
 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ28:20)。神様はいつもそばにいてくださるので、失敗を恐れず挑戦してみてください。皆さんの高等部生活が充実したものになることを祈っています。



フィリピンプログラム



各プログラム、土台は聖書の御言葉



鐘の音で始まる礼拝



伝道週間

初等部 Elementary School



お母さんへの感謝の集い



クリスマス賛美礼拝



なかよしキャンプ

ようこそ、しょうぶへ きたの えま 初等部2年

ごにゆうがく、おめでとうございます。しょうぶのたのしいことをしようかします。
 ① れいはいがまいにちあります。さんびかをうたいます。いつもかみさまは、そばにいてくださるので、とてもあんしんして、おんげきょうや、いろいろなことができます。
 ② 2ねんせいと6ねんせいのパートナーさんは、とてもやさしくて、わからないことをおしえてくれます。わたしは、2ねんせいになったので、パートナーさんがだれになるのかワクワクしています。
 ③ なかよしキャンプです。あそんだり、せいしよをいただきます。わたしは、せいしよをいただきうれしかったです。みんなもうれいきもちになってほしいです。
 ④ うんどうかいです。ダンスやかかけこをします。ダンスのれんしゅうは、とてもたいへんけど、うんどうかいでみんなのまえておどったら、きもちがよかったです。わたしは、1ねんせいにあえるのがとてもたのしみです。



しっかり前を向いて、一日一日を大切に 林 謙二 中等部教諭

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今、みなさんの胸の中にはどのような思いがあるでしょうか? 中学生になって少し大人になった喜び、新しい友達や先生と出会う喜び、どの部活に入ろうかという期待がある一方、勉強が難しくなっていくことへの不安、新たに出会う友達と仲良くなれるかという不安もあるでしょう。
 新しい世界に入るときはそういうものです。しかし、大丈夫です。神様は、いつも私たちを見守ってくれています。だから大丈夫です。
 新しい世界では楽しいこと、うれしいことをたくさん経験します。また、つらいこと、悲しいことも、必ず経験します。そういう、いろいろなことを経験して、人は成長していきます。神様は私たちを、日々新しくしてくださるのです。
 だから大丈夫です。しっかり前を向いて、一日一日を大切に過ごしましょう。



ハンドベル部



聖歌隊



ラディッシュの収穫

中部部 Junior High School

高等部 Senior High School

大学 University

新しい世界の見方 四方 ミノリ 大学 教育人間科学部3年

青山学院といえば? おしゃれ、自由、駅伝...! おっと! 「キリスト教」をお忘れではないでしょうか?
 青学はキリスト教を基盤とした教育を行っています。それは「キリスト教を通した、新しい人や世界の見方」を学ぶことができる、ということの意味だと思います。私たちが学ぶことの意義の一つは、自分の世界の見方の枠組みを広げることだと思います。私はこの学校で「私たち人間には限界があり、自分の力だけでは完全に善くなることはできない。しかし神様はそんな私たちを、この世界を、愛しており、私たちは神様の助けによって自分を、世界をより良く変えていくことができる」という見方を学びました。
 礼拝、授業、キリスト教学生会やハンドベル・クワイアの活動を通して、また、その見方をもって世界を見ている人との出会いによって、今もその世界の見方を探求しています。新しい世界の見方を学ぶ機会が沢山ある、それが青学の素敵どころです。



ACF



ハンドベル・クワイア



クリスマス礼拝(青山キャンパス)



クリスマス礼拝(相模原キャンパス)